



介護のおしごと、 こんな感じです。

「遠藤誠也です。26歳、大田市出身です。
ぼくの仕事について、お話しします。」

● 就職のきっかけは？

知人の紹介で、えがおから直接、介護や仕事のリアルな話を聞いたことがきっかけです。自分にもできそうと思えたことや、働きながら資格を取るサポートがあること、最近の介護業界の処遇改善の話などを知り、就職面接を受けようと決めました。

以前、高校の時に介護施設で短期アルバイトをしたことがあります。その時は正直、「大変な仕事だな」と。ですがそれだけに働く人がかっこよく見えました。

元々、人の役に立つ仕事がかっこいいなと思い、大学卒業後は、自衛隊や土木職なども経験しました。その間、介護の仕事も考えましたが、専門の学校を出て資格を持っていないと、給料や待遇など厳しいと耳にしたので選びませんでした。

けれどその後コロナ禍もあり、都会でなく地元で、人とふれあう仕事がしたいと思うようになり、それなら介護の仕事はどうかと、また気になってのことでした。



● どんな仕事？どんな職場？

入社して一年。今は介護、レクリエーションなど利用者さんの補助をひと通りしています。

ほぼ未経験で、はじめは介助の一つ一つにとまどいました。想像と実際やってみるとでは違っていて。

けれど分からないことは先輩たちに気軽に聞け、丁寧に明確に教えてもらえます。利用者さんは、ふれあうことで僕の顔を覚えてくれました。次に名前を。「あんたがおるけ、ここに来るよ」とも言って下さり、とても嬉しかったです。その様な中で、自然と介護や仕事に慣れていくことができたと思います。

えがおでは訪問、通い、泊りを組み合わせ、利用者さんの在宅生活を支援しています。お一人ずつのことができること、したいことに合わせ、ご自分の時間を大切にできるよう関わっています。



なじみの美容院さんにて



ランチをご一緒しました

